

事業報告書

自 2024年 4月 1日

至 2025年 3月 31日

公益財団法人前立腺研究財団

2024 年度 事業報告書

1 役員等

2025 年 3 月 31 日現在役員等

理 事	7 名 (代表理事 1 名 専務理事 1 名 常務理事 1 名)
監 事	2 名
評議員	8 名

2 会 議

1) 理事会

2024 年 5 月 27 日 (第 1 回 通常理事会	リモート会議)
2025 年 3 月 13 日 (第 2 回 通常理事会	リモート会議)
2024 年 6 月 13 日 (第 1 回 臨時理事会	リモート会議)
2024 年 10 月 3 日 (第 2 回 臨時理事会	みなし会議)
2025 年 1 月 24 日 (第 3 回 臨時理事会	みなし会議)

2) 評議員会

2024 年 6 月 13 日 (定時評議員会 リモート会議)

3) 前立腺研究財団財務検討チーム会議

2024 年 6 月 28 日 (第 1 回チーム会議	リモート会議)
2025 年 3 月 4 日 (第 2 回チーム会議	リモート会議)

4) 評議員選定委員会

2024 年 6 月 3 日 (第 1 回評議員選定委員会会議	リモート会議)
2024 年 10 月 29 日 (第 2 回評議員選定委員会会議	リモート会議)

5) 第 39 回前立腺シンポジウム プログラム委員会

2024 年 10 月 8 日 (リモート会議)

6) 前立腺シンポジウム運営委員会

2025 年 2 月 25 日 (リモート会議)

7) 2024 年度「研究助成」選考委員会

2024 年 12 月 15 日 (東京コンファレンスセンター・品川)

【事業報告】

1. 前立腺シンポジウム学術集会（自主事業）

第39回前立腺シンポジウムは、会場を例年の東京コンファレンスセンター・品川からコンgresクエア日本橋に変えて開催した。

第1日の12月14日（土）にオープニングセミナーおよび基礎部門として公募演題と指定演題の発表、ワークショップ、教育セミナー1を実施した。第2日の15日（日）には臨床部門として「多様化する限局性前立腺がん治療：根治性とQOL」をテーマに、公募演題の発表、教育セミナー2、ワークショップ（2企画）を実施し、2日間のシンポジウムを終えた。

2日間にわたって開催された今回のシンポジウムには、延べ280名の方々にご参加いただき、全国の泌尿器科医、放射線科医、病理医および基礎研究者を中心に、前立腺がん・肥大症の「基礎部門」、「臨床部門」それぞれの研究に携わっておられる医師・研究者による活発な討論を通じて意見交換、討論できたことは、明日からの前立腺がん・肥大症診療の向上に寄与すると考えられ、極めて意義深いシンポジウムとなった。

2. 研究助成（公募）

2024年度は、研究助成選考委員会を12月15日に実施し以下の3名が受賞した。

（助成金額は100万円/1名）

＜応募件数（受賞件数）＞

- ・基礎的研究課題：12課題（1課題）
- ・臨床的・疫学的研究課題：7課題（2課題）

【受賞者3名】

＜基礎1名＞

- ・星 誠二 氏

所 属：福島県立医科大学医学部 泌尿器学講座

課題名：PSMAを標的とした新規放射線リガンド治療薬 211At-Neopenthy1-glycol (NpG)-PSMA の効果最大化のための副作用低減戦略の構築

＜臨床・疫学2名＞

- ・佐藤 友紀 氏

所 属：東北大学大学院医学系研究科 泌尿器科学分野

課題名：治療関連型神経内分泌前立腺癌（t-NEPC）の早期診断モデルの構築とナイアシン代謝に着目した新規治療標的の探索

- ・川瀬 真 氏

所 属：岐阜大学医学部附属病院 泌尿器科

課題名：前立腺癌における糖鎖発現・構造と悪性度との関連

3. 人間ドック施設における前立腺がん検診実施状況調査 第 20 回（自主事業）

公益社団法人日本人間ドック学会の協力のもと、平成 17 年度より継続実施している「人間ドック施設における前立腺がん検診実施状況調査」は、前回 (19 回) の調査と同様に、前立腺がん検診実施状況の更なる詳細を把握する目的をもって、547 施設（前回 556）にアンケート調査票を配布し、224 施設（前回 208）より回答を得た。

回答率 41.0%（前回 37.4%）

回答結果は、実施調査関係者に対し 12 月 14 日にアンケート集計報告会議を実施するとともに財団関係者に対し報告書の冊子を送付した。

4. 情報提供（自主事業）

「がん医療情報」を求める医師、患者に対し Web サイトで、がん医療に関わる映像やセミナーの予定などを配信するキャンサーチャンネルに加盟し、Web にて科学的根拠に基づく「がん医療情報」を提供した。

2024 年度は 2 名実施

- ・ 柑本 康夫 先生（2023 年度予定 日程延期にて 4 月の実施）
所 属：和歌山県立医科大学 泌尿器科 准教授
テーマ：前立腺癌診療ガイドライン 2023 年版：改訂のポイント
- ・ 関根 芳岳 先生
所 属：群馬大学大学院医学系研究科 泌尿器科学 講師
テーマ：新規前立腺癌マーカー *phi* の有用性

5. 学術図書等の刊行（自主事業）

前立腺がんの正しい知識の啓発として、保健行政担当者向けに、前立腺がん検診に関するトピックス等を特集した「前立腺がん検診学術ニュース」を刊行。

住民検診実施時に市民から寄せられる問い合わせ等に活用するとともに財団ホームページ上に内容の要約を開示し広く社会一般に公表した。

2024 年度は、「前立腺がん検診学術ニュース第 18 号」を刊行した。

全国の自治体 (1,741 ヲ所) および関係機関 (123 ヲ所)、都道府県医師会長 (47 ヲ所)、財団関係者 (36 ヲ所) 宛て複数部送付した。

6. パンフレット等の印刷（自主事業）

一般市民向けに、前立腺がん検診についての最新情報をわかりやすく解説した「PSA 検診受診の手引き」は 2025 年度 4 月更新版刊行に向けて事前準備を行った。（原稿入手、校正など）

パンフレット要望の 2024 年度の依頼件数は 20 件（934 部）であった。

7. 前立腺微小がん発症と臨床がんへの進展の 1 次予防（化学予防）についてのコホート研究（自主事業）

主任研究者：黒沢病院 院長 伊藤一人

食生活習慣因子と前立腺がんの発症リスクの関係を検証することを主目的とし、2つの前向きコホート研究から構成される。

研究1、研究2ともに、20歳代前半の食習慣とベースライン検診時の問診データの電子化が完了にて、今後2〜3ヵ月中には予定されていた検体の測定が完了し、その後は、解析に入る予定。

研究は2024年度にて終了し、2025年度中には研究報告書を作成する。

8. 前立腺がん死に対するPSA検診の効果検証（自主事業）

主任研究者：黒沢病院 院長 伊藤一人

症例対照研究・時系列/地域相関研究への後ろ向き研究である本事業は、群馬県内の市町村前立腺がん検診データと、地域がん登録データの膨大な統合作業が順調に進んでいる。本年度中に統合が完了し、その後の研究用データベースの整備を行い、令和5年度事業計画書に示している重要な解析を含め、プロトコールに記載のある研究解析、来年度より研究成果を学術集会、学会医学専門誌に公表する予定である。学術雑誌への公開を含めた研究終了時期は、2025年度末を予定。

9. キャンペーン（後援事業）

前立腺がんの正しい知識を国民にわかりやすく伝えることを目的とした「ブルークロアバー・キャンペーン」に対し、後援名義の使用承認を行った。

第39回前立腺シンポジウムにて、「ブルークロアバー・キャンペーン」の活動動画の配信を行った。

※ブルークロアバー・キャンペーン

NP0 法人前立腺がん啓発推進実行委員会：代表者 深貝隆志（昭和大学 泌尿器科 教授）

以上